

船舶事故調査報告書

平成21年9月3日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 長 後 藤 昇 弘
委員 楠 木 行 雄
委員 横 山 鐵 男（部会長）
委員 山 本 哲 也
委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成20年12月28日 00時00分ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（本船発見場所は、愛知県田原市赤羽根漁港赤羽根港東防波堤灯台東方4,600m付近（概位 北緯34°37.1′ 東経137°14.1′）であった。）
事故調査の経過	平成20年12月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{ゆうりょう} 友漁丸、11トン AC2-4190（漁船登録番号）、個人所有 15.72m×3.88m×1.41m、FRP ディーゼル機関、400kW（漁船法馬力数）、昭和60年6月2日
乗組員等に関する情報	船長 男性 76歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年6月27日 免許証交付日 平成16年5月6日 (平成21年6月24日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成20年12月27日15時00分ごろ、船長1人が乗り組み、小型底びき網漁の目的で、愛知県幡豆町東幡豆港洲崎地区を出港し、同県渥美半島外海の赤羽根漁港東方沖の漁場に向かった。翌28日00時00分ごろ僚船船長が赤羽根港東防波堤灯台東方約4,600mで、明かりを点けた状態で海岸に乗り揚げている無人の本船を発見して東幡豆漁業協同組合に通報した。その後、僚船、海上保安庁、警察等が海上及び陸上から捜索を行った結果、同日11時20分ごろ本船発見場所の南東方約1,000m付近で、捜索中の漁船により海中から船長の遺体が発見され、溺死と検案された。 発見時、船長は救命胴衣を着用していなかった。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 6、気温 3～4℃ 海象：波高 1～2m 特記事項：東海海域東部に海上強風警報が発表されていた。

その他の事項	<p>本船発見時、船内から漁網及び曳網用ワイヤロープ等の漁具一式がなくなっており、これらはその後、船長を捜索中の漁船により海底から発見された。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 不明 不明</p> <p>死因は溺死であった。 溺死に至ったのは、船長が、救命胴衣を着用しないまま、落水したことによる可能性があると考えられる。 船長が落水した状況については、本船発見時漁網等漁具一式がなくなっており、その後、海底から発見されたことから、船長が投網作業中に落水した可能性や、海上強風警報が発表されていたことから、強風や波浪により落水した可能性があると考えられるが、明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船に1人で乗り組んでいた船長が、愛知県田原市赤羽根漁港東方沖において操業中、救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。</p>	